

大学野球を取り上げる新聞報道の研究

—Kリーグに着目して—

山下 湧士 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 後藤 英文

キーワード：大学野球，新聞報道

1. 緒言

日本の学生野球としては高校野球と大学野球の二つがあるが、メディアに取り上げられているのは圧倒的に高校野球である。大学野球が報道されてもごく一部しかないというのが現状である。Kリーグが注目されるようになるためには新聞報道が必要不可欠といえる。ただ同リーグに着目した研究がほとんどないため、まずリーグ自体の歴史や、組織構成について簡単に明らかにし、全国紙と地方紙による報道の違い、他リーグとの紙面記事の大きさや報道の内容の違いを明らかにする。

Kリーグが今後、新聞で取り上げてもらうために必要な改善点を紙面、インタビュー調査から考察し、新聞がどのような基準で紙面スペースの大きさを変化させているのかを考察した。

2. 研究方法

1) 調査対象者

Kリーグのある地元紙のアマチュア野球担当記者
通信社のアマチュア野球担当記者

2) 調査方法

- ・記者へのインタビュー調査 (2014年10月中旬に実施)
- ・文献，紙面調査

Kリーグのパンフレットなどを基に歴史を調査

全国紙と地元紙による新聞報道の比較

地元紙における他の関西にある大学野球リーグとの紙面比較

3. 結果と考察

新聞記事の比較，インタビュー調査から，全国紙では基本的に関西の大学野球リーグの記事自体

が少なくなっていることが分かる。地元紙での比較では，過去に好成績を残しているリーグは注目度も大きくなり，紙面での扱いも大きくなっている。ただし，リーグ戦の進行状況，リーグ優勝の決定する試合の記事は大きく変化しており，新聞報道では大学の知名度や全日本選手権大会での成績，注目選手の存在が大きく紙面に影響していることが分かった。また優勝争いに影響を与える試合なのかどうかも紙面スペースの大きさに関わってくることが分かった。またリーグから新聞社へのアプローチにより，記者の関心が変化していることも考察できた。

4. 結論

今後のKリーグの取り組みとしては，記者に対して有力選手やリーグ戦での注目点をリーグ側から新聞社へアピールするなどの広報活動を行うことが重要になる。またKリーグ自体の競技力を向上させて全国大会でよい成績を挙げられるようにすること，各大学内で野球部の人気を向上させ学生，大学関係者の観客を増やすことも必要。Kリーグに記者が注目するような有力選手が加入することになれば，Kリーグに対する記者の注目度が高まり，新聞での報道が大きくなるのではないかと考えられる。

引用・参考文献

A新聞 2014年9月22日朝刊

K新聞 2014年9月15日朝刊

K野球連盟創立60年記念誌 (2010年)

全日本大学野球連盟ホームページ

<http://www.jubf.net/> (2014/9/15 アクセス)